

平成 24 年 2 月 29 日【再提出】

心の復興音楽基金 御中

被災地へピアノをとどける会 ピアノ贈呈式実施報告

日時：平成 23 年 12 月 14 日

場所：宮城県東松島市大曲字寺前 5-2

東松島市立大曲小学校 TEL:0225-82-3147

会場：上記体育館

目的：被災した上学校へグランドピアノをとどける。

内容：ピアノ贈呈、ピアノ・ヴァイオリン・歌の演奏

主催者：被災地へピアノをとどける会

依頼者：大曲小学校 校長 亀掛川孝雄先生

出演者：小林弘正<バリトン>

渋谷由美子<ヴァイオリン>

庄司美知子<ピアノ>

曲目：ロマンス、ララルー、チャルダッシュ、かえるの歌(輪唱)、静かな湖畔(輪唱)、オ・ソレミオ、ふるさと

参加者：阿部 隆、郷古由理、小林弘正、渋谷由美子、庄司美知子

準備物：車両 1 台、デジタルカメラ、事前調律

移動手段：小林弘正／航空機、電車

その他 4 名／車

結果：350 名の小学生と先生方へ、無事ピアノと演奏をおとどけできました。

報告：大曲小には午前中にピアノが搬入され 1 時半より贈呈式が始まりました。校長先生のお話しなどがあり、全校生徒（400 人近く）の前で演奏させていただきました。無邪気に明るい低学年に比べ、高学年の生徒さん、そして先生方のお顔は何とも暗く沈んで見えました。後でお話を伺ったところによれば 9 名の生徒さんが亡くなり、2 名の生徒さんが未だ見つからないそうです。

校舎も 1 階はもう使えないとのこと。確かに乾いてはいるものの、1 階の教室は無残なものでした。案内され体育館に入りますと、何とも言えない匂いに咳込んでしまいました。これがヘドロのにおいです。あれから 9 か月が過ぎても、現場はこんな状況でした。そんな中にピアノが光っていました。

偶然、この学校には私の生徒（小 2）が在籍しており、この子もレッスンは最近まで途絶えがちになっていましたが、私と一緒に連弾をしてくれました。そして、

渋谷さんのヴァイオリンとのアンサンブル。渋谷さんは、楽器の説明をしたり、生徒の中まで入ってチャルダッシュを弾いたりしてくださいました。

小林さんは、子供たちに輪唱の指導、そしてオー・ソレミオを独唱。生徒さんからは、このピアノを使って校歌の大合唱。児童代表のお礼の言葉と続き、とても盛會に終わりました。

このピアノは、この後この地で頑張ってくれることでしょうか。私達に何ができるのだろう……。これからも、このおとどけしたピアノの活躍を、そして子供たちをずっと見守っていきたいものです。

#### ○経費報告

科目	支払先	金額
・伊丹空港⇔仙台空港 往復交通費	ローソン阪急茨木市駅南店	55,500 円
・仙台空港→仙台駅(仙台空港アクセス線)		630 円
松島駅時→仙台空港(JR 東北本線、仙台空港アクセス線)		970 円
		<b>計 57,100 円</b>

